

平成27年度 第3回人財育成セミナー開催のご案内

各社、各位におかれましては日頃より、当協会の催事にご参加、ご興味を持っていただき誠に有難うございます。さてこのたび、平成27年度に新たな事業として非会員にもオープンな『人財育成セミナー』を企画、スタートさせました。

本年度の内容は、企業の管理職を目指す方、管理職フレッシュマン、中小・ベンチャー企業のリーダー層等を念頭に構成してまいります。皆様のお役に立てられる事業として実施するために、掲げました主旨「真の次世代リーダー」と「強い日本の確立」のために一の意義に賛同いただき、多くの方々に参加していただけるようお願い申し上げます。今年度の実施セミナーは対話型の講義形式で順次開催される予定です。講義テーマは事務局案を基に開始いたしました、ご参加の皆様のご意見も取り入れながら継続的に企画を実施してまいります。

第3回セミナーでは、むさし野経営塾代表取締役塾長・日本MOT学会理事 角 忠夫氏に講師をお願いし、「エンジニアリング・マネージャー (CEOとCTO)」についてお話いただく予定です。1人でも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

< 記 >

1. 日時：平成27年7月15日（水）18:00～20:00（17:45 開場）
2. 場所：TKP 神田ビジネスセンター 会議室703号室
東京都千代田区神田美土代町3-2 神田アベビル3～8F
電話 03-4577-9240

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/bc-kanda/access/>

3. 主催：一般社団法人研究産業・産業技術振興協会
問合先 東京都文京区本郷3-23-1 電話 03-3868-0826

<http://www.jria.or.jp/HP/pdf/map.pdf>

【後援 経済産業省関東経済産業局 / 支援協力 CKS株式会社】

4. セミナー題目：『エンジニアリング・マネージャー (CEOとCTO)』
5. 講師：松蔭大学教授、むさし野経営塾代表取締役塾長・日本MOT学会理事 角 忠夫氏
京都大学工学部電気工学科卒業、株式会社東芝 取締役 電機事業本部長、芝浦メカトロニクス株式会社 代表取締役社長を経て、現北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科客員教授、松蔭大学教授、むさし野経営塾代表取締役塾長・日本MOT学会理事
6. 内容：技術者の最終目標をCTOと設定してはいけない。あくまでも目標は、最高執行責任者としてのCEOである。技術経営学（MOT）の面から、”技術者たる者、CEOを目指せ!”と 言う、講師自らが上場大手企業CEOを経験しての教を説く。
7. 参加費：14,000円（非会員早割7,000円*）※2週間までに参加登録要、会員半額）
8. 参加申込み：7月8日（水）16:00までに下記アドレスにご送信下さい。

（会議室の定員が30名程度ですのでお早めにお申し込み下さい。）

//////////

返信先： つくば事務所 石塚 (tsukuba1@jria.or.jp)

TEL 029-886-3652 FAX 029-886-3653

又は http://www.jria.or.jp/HP/index_jinzai.htm

- 第3回人財育成セミナー（7/15）に参加いたします（ ） ※○印をお願いします。

<第5回以降の予約も可能です。事務局にご連絡ください。>

- 参加料支払いは 当日現金（ ）、又は事前銀行振り込み（ ）をお願いいたします。

//////////

事務局 企画交流部 守谷、石塚(tsukuba1@jria.or.jp) TEL 029-886-3652



2015年度 人財育成セミナー プログラム

《18テーマ》

セミナーA：2時間(平日開催)
セミナーB：4時間(土曜開催)

主催



支援協力



—『真の次世代リーダー』と『強い日本の確立』のために！—

年	月	日	曜	時間	回	テーマ	セミナー内容概要	講師	講師略歴	
2015	6	10	水	18:00~20:00	①	① 軍事に学ぶ事業経営	『戦略』と『戦術』の違いを明確に理解していない経営者は少なくはない。『戦略』は“目的”であり、『戦術』は、“目標と手段”である。また、今一つ忘れてはいけないのが『後方支援』(兵站)である。これらを本来の軍事上の戦略論・実戦論を紹介しながら、事業・経営に活用・応用すべき項目を明確にする。	佐竹 右機	防衛大学校理工学科学卒 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科(MOT)修士課程修了 EIZO株式会社での開発設計、サンシン電気株式会社 取締役専務などを経て、現CKS株式会社代表取締役	
		24	水	18:00~20:00	②	② 失敗学—これからの仕事に活かしてほしいこと—	NPO法人失敗学会を立ち上げて、企業の生産活動に伴う事故・失敗の原因を解明する失敗学を創始。経済的打撃や人命にかかわる重大事故などが起きる前に未然に防ぐ方策がきわめて重要である。その手法をマスターすることは、企業活動や皆さんの人生における大きな支えとなるはず。	中尾 政之	東京大学工学部産業機械工科学卒 日立金属 磁気材料、磁気ヘッド HMT Technology 東京大学大学院工学系研究科 助教授 東京大学大学院工学系研究科 教授	
	7	15	水	18:00~20:00	③	③ エンジニアリング・マネージャー (CEOとCTO)	技術者の最終目標をCTOと設定してはいけない。あくまでも目標は、最高執行責任者としてのCEOである。技術経営学(MOT)の面から、“技術者たる者、CEOを目指せ!”と言う、講師自らが上場大手企業CEOを経験しての教訓を語る。	角 忠夫	京都大学工学部電気工科学卒 株式会社東芝 取締役 電機事業本部長、芝浦メカトロニクス株式会社 代表取締役社長を経て、現北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科客員教授、松島大学教授 むし野経営塾代表取締役社長・日本MOT学会理事	
		都合により延期	水	18:00~20:00	④	④ 四画面思考のすすめ	『現状の姿』⇒『やりたい姿』⇒『やりたい姿』⇒『実践する姿』を四画面で作成することにより、自己の実現目標や組織での達成目標を明確にする手法を紹介する。同時に組織のモチベーションアップのヒントを紹介する。	近藤 修司	早稲田大学理工学部卒 株式会社日本能率協会コンサルティング社長、同社最高顧問を経て、現北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科客員教授、株式会社四画面思考研究所代表取締役 著書『四画面思考法の基本』など	
	8	5	水	18:00~20:00	⑤	⑤ 韓国の産学連携人材育成	サムスンを中心とする韓国巨大企業の人材育成を視察し、我が国産業のとるべき方向を聴講者と共に模索する。中でも重要な課題は、価値共有プログラム、リーダー養成プログラム、グローバル能力強化プログラムに包括されている。	石田 賢	三菱総合研究所 産業分析 日本総合研究所 アジア戦略 エムアイ総研 代表 日刊ビジネス誌編集 副会長(神奈川)	
		19	水	18:00~20:00	⑥	⑥ 原点に戻る思考法	初心を忘れて形式的な組織論にこだわる傾向が各分野で増えています。これがいかに自分のポテンシャルを解放するうえで妨げになるか。人生の目標を定めるうえでも、時に遅れないためにも、取るべき道はそう多くありません。技術分野の実例から仮想課題を抽出して聴講者と対話しながら理解してもらいます。	守谷 哲郎	東京大学大学院工学系研究科卒 経済産業省電子技術総合研究所 超分子部長、大阪ライフエレクトロニクス研究センター長、(独)産業技術総合研究所 産学連携コーディネーター、臨海副都心センター所長 (財)日本産業技術振興協会 産業技術部長	
	9	9	水	18:00~20:00	⑦	⑦ 松下幸之助に学ぶ	松下政経塾一期生として、故松下幸之助から教わったこと・学んだことを紹介しながら、あるべき経営者の資質に関して語り。人を大事にして、努力を惜しまない。このイズムは現代の経営学においても学ぶべきことは多い。	岡田 邦彦	東京大学法学部卒 松下政経塾一期生 元松下政経塾塾頭 ハーバード大学客員研究員、早稲田大学客員教授 などを経て、現亜細亜大学客員教授・岡田アンソニエツト代表	
		19	土	13:00~17:00	⑧	⑧ 戦略MM1《ハンニバルに学ぶ戦略思考学》	米国ハーバード大学、英国キングスカレッジ、日本防衛省各リーダー必須のMM(図上演習)を実験体験しながら、リーダーとしての経験に基づき、対処法を紹介する。判断力・思考力・決断力を養う。 ■戦略MM1《ハンニバルに学ぶ戦略思考学》 戦場シミュレーションを、受講者相互が体験実践する。	奥出 早哉	防衛大学校卒 陸上自衛隊第1ヘリコプター団本部長高級幕僚、防衛大学校教授などを経て、現弁護士フニックス・CKS株式会社戦略研究室主席研究員・NPO法人国際戦略シナジー学会理事	
	10	7	水	18:00~20:00	⑨	⑨ コトづくりへの挑戦	コトづくり、顧客経験のデザインである。このとき人工物の「設計情報」に着目することが重要。人工物には顧客と対話しようとするコミュニケーション要素が詰め込まれています。顧客に訴えかけるコトづくりへの考え方を事例を踏まえて身につける。	善本 哲夫 (予定)	同志社大学大学院 同志社大学商学部講師 立命館大学経営部デザイン科学研究センター所長 教授	
		21	水	18:00~20:00	⑩	⑩ 人生のアンカリング —「天敵」の存在に気がつくとき、それが「人生の転機」—	■人生のアンカリング 生れた時から現在に至るまで、失敗や挫折を経験しなかった人はいない。「天敵」がいるから、然界の動物は生き延びている。人間だけがその例外である。人間は自分から「天敵」を作らねば生き延びられない。	伊藤 博	明治大学法学部卒 明治大学大学院法学研究科民事法専攻修士課程修了 現弁護士、弁護士法人フェニックス代表 著書『Q&Aの法律(日経)』 『定年後、プラス思考になれる本』(PHP)など	
	11	4	水	18:00~20:00	⑪	⑪ 環境の変化に対応する事業体系	小さな組織でも新製品の創出を容易にする手法と、その実際の実例・運用事例を、ゼロから新しく立ち上げた組織や企業の経験も生かして、判りやすく説明・紹介する。	佐竹 右機	防衛大学校理工学科学卒 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科(MOT)修士課程修了 EIZO株式会社での開発設計、サンシン電気株式会社 取締役専務などを経て、現CKS株式会社代表取締役	
		18	水	18:00~20:00	⑫	⑫ 今の時代に求められる人材像と教育環境	人材マネジメントに対する要求の変遷、インペーション創出、人材の能力要素を考慮すると、企業においては能力要素の内、ハードスキル不足感が強い。しかし、すべての能力を一個人に求めることは困難であり、異なる能力を有する多様な人材のチームで担うべきものである。	小沼 良直	早稲田大学理工学部 応用物理学科学卒 東京ガス株式会社 株式会社テクノリサーチ研究所 一般社団法人日本総合研究所 主席研究員 を経て 現職 公益財団法人未来工学研究所 主席研究員	
	12	2	水	18:00~20:00	⑬	⑬ グローバル化時代のインベーター人材	グローバルR&Dには、「ほどよい形式知と濃密な関係性」「暗黙知の伝授」「ガバナンスとモチベーション」「軒先を借りる」「コンフリクトを乗り越えるマネジメント」「Good Global Engineering」が必要である。	徳岡 晃一郎	東京大学教養学部卒 オックスフォード大学経営学修士 日産自動車人事部、欧州日産を経て 現職 多摩大学 知識リーダーシップ総合研究所 所長 教授	
		16	水	18:00~20:00	⑭	⑭ 人との対話をすすめるために自分を知る	簡単なチェックを行い、自己表現をどのように行っていくかは、他者尊重のコミュニケーションが行われていけるかについてわかりやすく説明する。	中川 尚志	東京理科大学工学部経営工科学卒 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科(MOT)修士課程修了 バイオニア株式会社 において経営革新活動に従事 現日本(バーン)融合学会専務理事・日本カレッジ・NPO協会理事	
	2016	1	13	水	18:00~20:00	⑮	⑮ グローバルリーダーシップ	国際社会で活躍できるこれからの日本人に必要なもの、リーダーとしての資質、教訓に関して語り。また、欧米と比較して、日本の長所と短所をズバリ取り上げて、その対処法なども紹介する。	岡田 邦彦	東京大学工学部卒 松下政経塾一期生 元松下政経塾塾頭 ハーバード大学客員研究員、早稲田大学客員教授 などを経て、現亜細亜大学客員教授・岡田アンソニエツト代表
			27	水	18:00~20:00	⑯	⑯ IT社会における個人情報管理とビジネス	IT社会では個人情報保護はますます大きな課題となっている。一方ビッグデータの収集による広範な検索や統計分析による付加価値の高い予測などで新たなビジネスチャンスが生まれつつある。このような変革の中で、個人情報を個人が管理するシステムの必要性が注目されて、情報ビジネスの枠組みが変わるとしている。	橋田 浩一	東京大学大学院理学系研究科卒 経済産業省電子技術研究所 (独)産業技術総合研究所 東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
		2	17	水	18:00~20:00	⑰	⑰ 起業論/起業家	起業論(企業論)の定義 機会と行動の分析 色々な起業型の分析 実務観 など論と家を広く語り	佐藤 尚秀	電気通信大学卒 北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科(MOT)修士課程修了 高知工科大学大学院工学研究科基盤工学専攻)博士課程修了 博士(学術) 大手電機メーカー、商社などを経て 現在専任印刷(株)専務取締役
			20	土	13:00~17:00	⑱	⑱ 戦略MM2 《織田信長に学ぶ戦略思考学》	(図)演習)を実験体験しながら、リーダーとしての経験に基づく対処法を紹介する。判断力・思考力・決断力を養う、第二弾。 ■戦略MM2《織田信長に学ぶ戦略思考学》 圧倒的な軍勢の今川義元に対抗する桶狭間の織田信長の戦いのシミュレーションを、受講者相互が体験実践する。	奥出 早哉	防衛大学校卒 陸上自衛隊第1ヘリコプター団本部長高級幕僚、防衛大学校教授などを経て、現弁護士フニックス・CKS株式会社戦略研究室主席研究員・NPO法人国際戦略シナジー学会理事

お問い合わせ

一般社団法人研究産業・産業技術振興協会 つくば事務所 石塚(tsuba1@jria.or.jp)

TEL 029-886-3652 FAX 029-886-3653